

星野リゾート アルツ磐梯 (会津・磐梯エリア)
国内最大級の20mのキッカーを有する
「グローバルパーク」が新登場
オープン期間：2019年1月26日～2月28日

国内有数のビッグゲレンデ「星野リゾート アルツ磐梯」内に、2019年1月26日、世界レベルの技に挑戦できる「グローバルパーク」が新登場します。このパークは20mのキッカーや、全長15mのジブセクションを有した国内最大級のパーク(*1)です。

*1 パーク：人工的に作られた様々な障害物が設置されたエリアの総称。キッカーと呼ばれる雪で作られたジャンプ台や、箱や手すりのような形をしたジブと呼ばれる人工物のアイテム、ハーフパイプなど、スキー場ごとに様々な障害物が並ぶ。



写真は昨年 Miyabi Park

2017-18シーズン、アルツ磐梯のディガー(*2)チームは、星野リゾート所属のプロスノーボーダー 鬼塚 雅選手専用のパーク「Miyabi Park」を造成しました。平昌五輪のパークを設計するなど、世界で活躍する海外のスペシャリストにも協力を仰ぎ、最先端の技術と、オリンピックである鬼塚選手の声の反映させた世界レベルのパークとなりました。このノウハウを基に2018-19シーズンは、国内最大級のグローバルパークを造成します。

メインとなる20mのキッカーは、高さ15m、横幅20mで、コース1本をほぼ全面使った巨大なジャンプ台です。このキッカーを造成するために、1月上旬から降雪機や重機を駆使し、10t(トン)トラック約100台分の雪を集めました。雪集めを含めたパークの造成期間は約3週間で、国内最大級のキッカーが誕生しました。

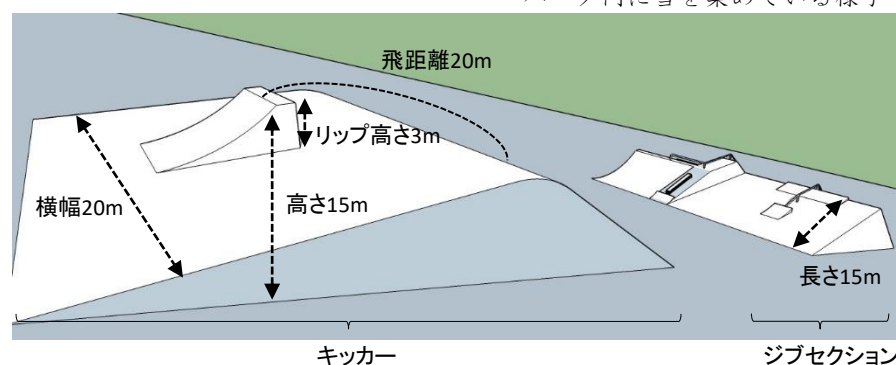
*2 ディガー：スキー場で、重機や専用の器具を駆使して、パークを作る専門スタッフのこと。



パーク内に雪を集めている様子

「グローバルパーク」概要

- 期間：2019年1月26日～2月28日
- 時間：10:30～15:00
- 料金：無料 (別途当日有効なリフト券が必要)
- 設置場所：バトウ1 (コース斜度：約15度)
- 設置アイテム：
 - 20mステップダウンキッカー、
 - 9mダブルキンクレール、キャノンレール、
 - 6mフラットレール、7.5mフラットダウンレール

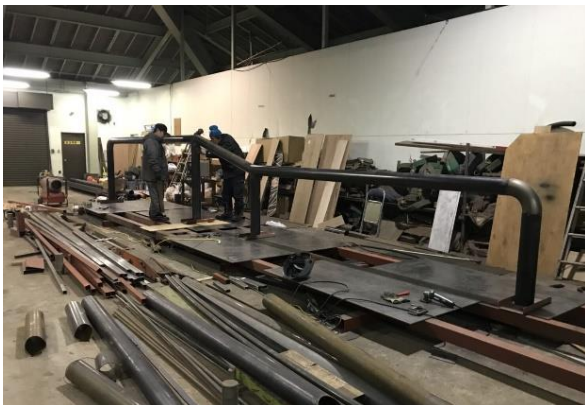


ディガーチーム紹介

アルツ磐梯のパーク造成は、日本オープンやアジアオープンなど国際大会を手掛けた国内トップレベルのディガーチームが、設計から仕上げまで一貫して行っています。特に、リーダーを務める山田雄二(やまだゆうじ)は、これまでアルツ磐梯で数千個のアイテムを手掛け、磐梯山の地形や雪質などの環境を最も知り尽くすスタッフです。福島県を拠点に25年間ディガーを務め、アメリカに渡りパーク設計の勉強をするなど、国内においてもトップクラスの知識と経験を持っています。

完成までの道のり

1 自社工場で作成する



2 ゲレンデ内の雪を集めたり、降雪機で雪を作ったりして、必要な雪を集める



3 1度単位で角度を調整しながら形を作る



4 作成したジブアイテムを設置する



5 手作業で微調整をして仕上げる



ディガーチームリーダー 山田雄二のコメント

グローバルパークは、雪を多く使うことでキッカーの土台を大きくし、ランディング(着地)部分を長い急斜面にすることで、大きなキッカーでも安全に着地できます。1月にこれだけの雪を集めることに苦労しましたが、国内ではこの時期に20mのキッカーがあるスキー場はアルツ磐梯だけです。世界を目指す若い選手たちが、これからもシーズンの早いうちから、世界レベルの大きいキッカーで練習する場を作っていきたいです。

今後の展開

グローバルパークは、星野リゾート所属のプロスノーボーダー 鬼塚選手をはじめ、国内外のトップ選手が利用する予定です。



ディガーチームリーダー 山田雄二

星野リゾート アルツ磐梯

磐梯山の麓、猪苗代湖をみおろす絶好のロケーションに位置するスキー場。東北トップクラスのスケールを持つゲレンデを有し、スキー・スノーボード、様々なスノーアクティビティを楽しむことができる。

営業期間：2018年12月22日～2019年3月31日

駐車場台数：3,000台(平日無料、土日祝日は1,000円)

リフト料金：1日券大人4,700円、シニア4,000円、中高生3,500円、小学生2,000円(税・サ込)

リフト・ゴンドラ数：8基

このリリースに関する報道関係からのお問合せ

星野リゾート グループ広報

TEL：03-5159-6323 FAX：03-6238-6853 E-mail：pr-info@hoshinoresort.com

